



特定非営利活動法人 わっか
2019年度月報告書

2019年
5月

だれもがまるごと
受け止められる
社会をつくる



NPO 法人 わっか

NPO 法人わっかとは

だれもが、まるごと受けとめられる社会 を目指して

活動を行なっている団体です。

子どもを取り巻く環境

子どもたちは「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により

「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、

さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。

また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り、仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたいという思いで

居場所づくり事業 や 学び合い事業 などを行っています。



月ようわっか
毎週月曜日
15:30~20:00

のべ人数

大人 4 名 子ども 105 名

(大人 6 名 子ども 58 名) ごはんを食べた人数

6日 大人 1 名 子ども 15 名 (ご飯: 大人 0 名、子ども 6 名)

メニュー: ごはん、豚汁、蒸し鶏、絹さやのガーリック炒め
.....

13日 大人 1 名 子ども 17 名 (ご飯: 大人 2 名、子ども 17 名)

メニュー: ごはん、糸コンのみそ汁、キャベツとかんもの煮物、ほうれん草のツナ和え
.....

20日 大人 0 名、子ども 25 名 (ご飯: 大人 2 名、子ども 16 名)

メニュー: カレーライス、もしくはハヤシライス、ほうれん草のツナ和え (お誕生日リクエスト)
.....

27日 大人 2 名 子ども 35 名 (ご飯: 大人 2 名、子ども 19 名)

メニュー: ごはん、そうめん、絹さやと豚肉の冷たい煮物



【nobi と Asuka の思い】

台所でごはんの準備していると「今日の晩ご飯なにー？」という声に混ざって「あすか、手伝えることあるー？」という、声があります。

だいたいの料理の説明をして、これからやる段取りを話すと「私ゆでたーい」「僕焼きたーい」と、言ってくれます。

気の済むまでしたら

「遊んでくるわー」と言ってどこかに飛んで行っちゃう子もいる中で「ちょっと味見していい？」と言う子もいます

「ちょっとだけだよー」「内緒だよー」と言うと嬉しそうに「わかってるって、」と、ほんの少しつまんで遊びに行ったりします



すると、遠くの方で聞こえてくる

「何食べてるのー？」「なにー、おしえてー」という会話が

そして続くこちらに向かってくる足音と

「あすかー」私を呼ぶ声が

その後はご想像に.....

こんなやり取りを重ねています。

日ようわっか
10:00~15:00

19日 大人6名 子ども18名

メニュー：ピザ



わっかの前で開くのを待っていてくれた子たち



のんびりとみんなで過ごしています。



ピザの生地をこねてくれています。



ふたりで、何をしているんだろうね。



子供たちの作るピザは形がいろいろだね。



ごはんを食べた後、ゆっくりと本を読んでいます。

waccafe 10:00～14:00 金曜日

10日、17日、24日、31日 3名

珈琲の落ちる時間を楽しんでいる自分に、ふと気づき、ゆっくりと呼吸しはじめる…来る人がそんな時間や空間になればという思いを込めた waccafe。

今月から開催日を月曜日から金曜日に変更しました。

のっぱらわっか 10:00～夕方（子どもたちが帰るまで）

12日 9名

野天の下、広い野原で好きずきに過ごす。雨に見舞われた時にはずぶぬれになりながら遊び、強風の時はパラソルを広げて自分も浮いてみたり。山に登りだす子、火を起こしに夢中の子、本を読んで動かない子、ごっこ遊びをはじめめる子、自分がやってみよう！にチャレンジできる、そんな場です。



寺子屋わっか 毎週水曜日 18:30 ～ 20:00

8日、15日、22日 12名（のべ）

「テレビの音も周りもうるさすぎる！」 「宿題する場所がほしい！」 大人数兄弟の子が声を上げた事からはじまった寺子屋わっか。

小学生から中学生の子ども達がスタッフと一緒に勉強しています。

10日、17日、24日、31日

子ども 1名

< 事業の目的 >

現代の子どもたちは自分を”まるごと”受け止められ”ありのままの自分でいいんだ”と感じる経験が少なくなっている。それは、家族形態や就労環境の変化、地域社会・教育環境の変化という子どもたち自身では変えられない大人の都合によるものである。

その影響を子どもたちが受け、日々苦しさを感じている子どもがいることを我々は4年間の子どもの居場所づくりを通じて実感している。いわゆる自尊感情の低さにより日々の生活や勉強にしんどさを抱える子どもたちに出会ってきている。

子どもがまるごと受けとめられる経験をし、夢中になれるものを見つけ、安心して自分が夢中になるものを作りぬくことで、結果的に成長することを目的とした事業です。

そのために、小中学生に、彼らが夢中になるものを、やりたいように突き詰めるサポートを、一緒に過ごすスタッフやと子どものやりたいことの分野における専門家が行う。

スタッフと専門家が、子どものやりたいことを見守りつつ必要に応じて、学習面、生活面までのサポートし結果として子どもの学力の向上を目指します。

▼最近、ハンバーグを毎回作っています。



▶Facebook ページ 『子どもの夢中全力サポート』にて来ている子が日々の様子を発信しています。

5月に頂いた みなさまからの 寄付

□ 物品でのご寄付

物品での寄付によって、わっかの活動が充実しています。

5月に、みなさまよりいただいたものをご紹介します。



- ・マコトヤさま：タオル
- ・Hさま：お菓子
- ・匿名さま：プラレールなど
- ・Tさま：おもちゃ
- ・青岸寺さま：おかし

みなさまのお気持ちありがとうございます。

□ 資金

みなさまからの資金により、活動のこどもたちと過ごす日常を過ごすことができます。

5月に正会員や賛助会員、ご寄付として金銭での寄付をいただいた方をご紹介します。

吉原さま、福井さま、青岸寺さま

前田さま、広部さま、Tさま

Wさま



団体名 特定非営利活動法人 わっか

住所 〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5

電話 070-1803-1059

メール wacca235@gmail.com

WEB 「わっか 米原」で検索 (<http://bouken-asobiba.jimdo.com>)

・ Facebook ページ 「こどもと大人の居場所 わっか」で検索 <https://www.facebook.com/wacca2014/>

・ ブログ : nobi と asuka アメブロ「月ようわっか」で検索 <https://ameblo.jp/wakka-moon/>

